

## 丸藪（まるやぶ）古墳



村山神社から南へ登ったところの畑の中に、こんもりとした小さな墳丘がある。これが丸藪古墳である。

墳形は、円墳で、西向きに開口する横穴式石室をもつ。石室の長さは7 mほどで、羨道が2.7 mほど、玄室が4 mほどである。南側側面にある穴は、盗掘坑である。

玄門立柱石を有し、玄室が立柱石から両サイドに広がる両袖式の石室で、玄室は、左側壁は垂直だが、右側壁は持ち送りになっている。奥壁は一枚岩で、側壁は中程度の石を積み上げている。高さは、大人が少し頭を下げると立つことができる程度である。